

令和2年度ステージラボ オンラインセッション シンポジウム『地域に今なぜアートが必要か』

第2部「市民と向き合うアーティスト」

■ファシリテーター



吉野さつき (よしの・さつき) アーツ・マネージャー

／愛知大学文学部メディア芸術専攻教授

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学び、公共劇場勤務、英国で研修（文化庁派遣芸術家在外研修員）後、教育、福祉等の場で芸術を用いた活動に携わる。調査研究：日本財団パラリンピックサポートセンターとの共同「障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査報告書」「障がい者による舞台芸術活動に関するケーススタディ調査」（2106年）。2017年度から2019年度まで厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業評価委員。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」メンバー。

■パネリスト



遠田 誠 (えんだ・まこと) ダンサー／振付家／まことクラヴ主宰

漆器づくりの家系に生まれ、プロダクトデザインを学ぶ一方、商店街ファンとして街のディテールに注目。デザインする上での俯瞰した視点とダンスの外様としての特異なアプローチから作品づくりを行う。日常のはざ間にダンスその他諸々を混在させる『まことクラヴ』、閉鎖空間でこそその表現の可能性を追求する『&ルフィン（エンドルフィン）』を主宰。作曲家・演出家・振付家・アーツマネージャーによるユニット『門限ズ』メンバー。2018年より、様々な街並みをダンスで紡いでいく『“街”ダンス（ガイダンス）』シリーズを展開。



田上 豊 (たのうえ・ゆたか) 劇作家／演出家／田上パル主宰

／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督

1983年熊本県生まれ。劇団公演の他、中高生とのクリエイション、公共ホール事業への書き下ろしや国際共同事業など、様々な形で活動を展開。創作型、体験型、育成講座など幅広いワークショップも行う。青年団演出部、尚美学園大学非常勤講師。一般財団法人地域創造リージョナルシアターシリーズ登録アーティスト。奈良市アートプロジェクト舞台芸術プログラムディレクター。



田村 緑 (たむら・みどり) ピアニスト

躍動感に満ち情感あふれる演奏スタイルと、在英経験を活かした独創的プログラムが特徴。全国各地で演奏活動を行う。普及の分野では先駆者的存在。地域と共にある新しい企画の開発、地域に貢献できる演奏家の育成など活動は多岐に渡る。英国ギルドホール音楽院ピアノ科首席卒業。ロンドン・シティ大学大学院修士課程修了。2016-2018いわき芸術文化交流館アソシエイト・アーティスト。一般財団法人地域創造おんかつ支援登録アーティスト。



吉澤延隆 (よしざわ・のぶたか) 箏奏者

東海大学大学院芸術学研究科修士課程修了。08年第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて第1位・賢順賞を受賞。近年ではコンサート活動に加え、東京文化会館ワークショップ・リーダーとして未就学児やその家族などに対するワークショップ活動も行っている。現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。公式ウェブサイト <http://www.nobutaka-yoshizawa.com>



津村 卓 (つむら・たかし) 一般財団法人地域創造プロデューサー

85年大阪ガス扇町ミュージアムスクエアを企画し、副支配人兼プロデューサーに就任。87年より02年まで兵庫県伊丹市の伊丹市立演劇ホール（アイホール）チーフプロデューサーの傍ら、95年より財団法人地域創造プロデューサーを務める。

北九州芸術劇場館長・顧問、長野県上田市交流文化芸術センター館長を2020年3月退任。現在、長崎市文化アドバイザー、長野県芸術監督団メンバー。